

令和4年11月21日
(公財)日本海事広報協会

報道関係各位

**副教材「海運と船と港の役割」
今治市の小学校を対象にモデル授業の実施**

公益財団法人日本海事広報協会（会長・武藤光一）は、令和3・4年度の「小学校における副教材等による海事教育の推進事業」を愛媛県今治市にて実施しています。

本事業は、海事団体の協力を得て、2カ年計画で当該都市において、海運、造船、船員、港湾、港湾運送、倉庫など海事全般の大切さを盛り込んだ社会科（とくに小学5年生）又は総合的な学習の時間用のテキストを制作するとともに、これを教育現場で実際に活用してもらい、海事全般の知識を深めることを目的としています。

11月11日（金）に今治市立日高小学校5年2組29名を対象に、令和3年度に本事業で制作した、副教材「海運と船と港の役割」を活用したモデル授業が執り行われました。モデル授業には、田坂敏・今治市教育長、秋山直人・同市副教育長らが出席。当日は、鈴木淳仁・担当教諭が授業をおこないました。内容は「日本最大の海事都市今治」についてや「外航船の船主『今治オーナー』」、「今治港で扱うさまざまな貨物」など、児童たちは今治港が今治市や日本を支えるために大変重要な役割を果たしていることを学びました。

授業を受けた児童からは、「今治港は今治市や周辺地域にとって重要な存在だと思った。」「今治港の凄さについて知らなかった。これからは私たちが今治港を守っていきたい。」「機会があれば造船業についてもさらに知りたい。」などの感想が積極的に述べられました。



授業の様子



写真やグラフを活用して解説する場面

なお、同校では本授業に先立ち10月25日に事前学習として、今治造船(株)において、見学会を行いました。

当協会では、引き続き、今治市において、海事関係者とともに、海事産業の見学会や出前授業等の海事教育を推進していきます。

●小学校における副教材等による海事教育の推進 HP

<https://www.kaijipr.or.jp/educational/>

【後援】国土交通省海事局・港湾局、今治市教育委員会、全国小学校社会科研究協議会

【協力団体（50音順）】（一社）日本港運協会、（公社）日本港湾協会、（一社）日本船主協会、

（一社）日本倉庫協会、（一社）日本造船工業会、日本内航海運組合総連合会



この件に関する問い合わせ先（公財）日本海事広報協会 事業第一部 鈴木悠樹

TEL:03-3552-5033/FAX:03-3553-6580 E-mail:y.suzuki@kaijipr.or.jp